

## シンポジウム 1

## 肝硬変診療の未来予想図（現状と課題）

第 1 日目 6 月 15 日（木）8：40～11：10

第 1 会場（奈良県コンベンションセンター 1 階 コンベンションホール A）

司会 日浅 陽一 愛媛大大学院・消化器・内分泌・代謝内科学

清水 雅仁 岐阜大大学院・消化器内科学

【基調講演】 肝硬変診療の未来を拓く

埼玉医大総合医療センター・消化器・肝臓内科 名越 澄子（なごし すみこ）

SY1-1 長期予後を見据えた Portosystemic shunt syndrome に対する治療戦略～Point of No Return の探求～

山口大大学院・消化器内科学 石川 剛（いしかわ つよし）

SY1-2 肝リンパ排泄機能から推測する肝硬変の point of no return

愛媛大大学院・消化器・内分泌・代謝内科学 廣岡 昌史（ひろおか まさし）

SY1-3 腎機能の過大評価は、肝硬変患者における重要な予後予測因子である

北海道大大学院・消化器内科学 吉田 苑永（よしだ そのえ）

SY1-4 肝性腹水に対する tolvaptan 治療の短期奏功と予後に関する検討

武蔵野赤十字病院・消化器科 中西 裕之（なかにし ひろゆき）

SY1-5 難治性腹水濾過濃縮再静注法（CART）による AT-III、血液凝固因子の回収

奈良県立医大附属病院・消化器・代謝内科 依岡 伸幸（よりおか のぶゆき）

SY1-6 MAFLD の肝線維化進行・SVR 後発癌に対するインパクト＜多施設共同研究＞

久留米大・消化器内科/福岡県肝疾患相談支援センター 佐野 有哉（さの ともや）

SY1-7 肝硬変におけるトロンボスポンジン 2 の臨床的意義：C 型肝炎と NAFLD による比較検討

信州大・消化器内科 木村 岳史（きむら たけふみ）

SY1-8 慢性肝疾患患者における栄養アセスメントの重要性和低栄養の簡易指標としての Albumin-bilirubin score の有用性：データマイニングによる検討

岐阜大大学院・消化器内科学分野 三輪 貴生（みわ たかお）

SY1-9 健康成人と比較した慢性肝疾患・肝硬変患者の血漿遊離アミノ酸プロファイル

国立国際医療研究センター・肝疾患研究部 嘉数 英二（かかず えいじ）

SY1-10 類洞内圧亢進は LSEC の YAP/TAZ 活性化により CTGF 分泌を促進し肝線維化を進展させる

大阪大大学院・消化器内科学 加藤 聖也（かとう せいや）

SY1-11 門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症の診断基準の変更に伴い確定診断される症例の頻度はどのように変わるか？

日本医大付属病院 厚川 正則（あつかわ まさのり）

SY1-12 新基準を見据えた門脈肺高血圧症のスクリーニング～肝肺症候群との関係も踏まえて

千葉大大学院・消化器内科学/

千葉大附属病院・超音波センター 近藤 孝行（こんどう たかゆき）

- SY1-13 肝癌合併肝硬変患者における血清亜鉛値と合併症との関連の検討  
東北大病院・消化器内科 澤橋 里子 (さわはし さとこ)
- SY1-14 ストループテストを用いた不顕性脳症の診断と臨床的意義  
埼玉医大病院 相馬 直人 (そうま なおと)
- SY1-15 アンモニア代謝異常潜在期 (LAM) における肝線維化と不顕性肝性脳症の検討  
市立貝塚病院・消化器内科 垣田 成庸 (かきた なるやす)

## シンポジウム 2

## 脂肪性肝疾患診療の未来予想図（現状と課題）

第 1 日目 6 月 15 日（木）8：40～11：10  
 第 3 会場（奈良県コンベンションセンター 2 階 会議室 203）  
 司会 中島 淳 横浜市立大・肝胆膵消化器病学  
 川口 巧 久留米大・消化器内科部門

## 【基調講演】 NAFLD 診療の現状と課題

- 東京女子医大・消化器内科 徳重 克年（とくしげ かつとし）
- SY2-1 NAFLD における肝臓サーベイランスの意義  
 武蔵野赤十字病院・消化器科 玉城 信治（たまき のぶはる）
- SY2-2 FIB-4 index は、NAFLD 患者における肝関連イベント、主要心血管イベント、他臓器がんの予知に有用なバイオマーカーである  
 幡多けんみん病院・消化器内科、高知大・消化器内科学 宗景 玄祐（むねかげ けんすけ）
- SY2-3 非アルコール性脂肪性肝疾患の肝線維化診断・予後予測における 4 型コラーゲン 7S の有用性  
 JR 大阪鉄道病院・消化器内科 石破 博（いしば ひろし）
- SY2-4 血清アルブミン値を用いた肝生検施行 NAFLD 患者の予後予測～多施設共同研究  
 大阪公立大附属病院 藤井 英樹（ふじい ひでき）
- SY2-5 NAFLD と MAFLD の臨床像の比較検討  
 東京女子医大病院 小笠原友里（おがさわら ゆり）
- SY2-6 Agile score を用いた at risk NASH の囲い込みと肝関連イベントリスク層別化  
 東京大附属病院・消化器内科 中塚 拓馬（なかつか たくま）
- SY2-7 MRI を用いた脂肪定量・肝硬度値が脂肪性肝疾患患者の予後に与えるインパクト  
 名古屋大附属病院・消化器内科 伊藤 隆徳（いとう たかのり）
- SY2-8 NAFLD における遺伝子多型が肝関連イベント、予後に与える影響  
 京都府立医大・消化器内科 瀬古 裕也（せこ ゆうや）
- SY2-9 GDF15 は NAFLD の肝発癌予測に有用である  
 大阪大大学院・消化器内科学 熊崎 秀祐（くまざき しゅうすけ）
- SY2-10 NAFLD 治療戦略の未来予想図：NAFLD 合併高中性脂肪血症患者におけるペマフィブラートの脂肪肝への影響（PORTRAIT 試験）  
 愛知医大・肝胆膵内科 角田 圭雄（すみだ よしお）

## シンポジウム 3

### B 型肝炎診療の未来予想図 (現状と課題)

第 2 日目 6 月 16 日 (金) 9:00~11:30

第 4 会場 (奈良県コンベンションセンター 2 階 会議室 204)

司会 黒崎 雅之 武蔵野赤十字病院・消化器科

田中 靖人 熊本大・消化器内科学

【基調講演】 B 型肝炎—Elimination に向けての課題

- 国立国際医療研究センター・肝炎・免疫研究センター 考藤 達哉 (かんとう たつや)
- SY3-1 核酸アナログ開始後の肝発癌リスク因子：新規糖鎖マーカー HBsAgGi を含め  
大阪公立大大学院・肝胆膵病態内科学 小塚 立蔵 (こづか りつぞう)
- SY3-2 高感度 HB コア関連抗原測定から見た HBs 抗原陰性化後の臨床経過と肝癌発症  
虎の門病院・肝臓センター 保坂 哲也 (ほさか てつや)
- SY3-3 薬剤耐性が生じた B 型慢性肝炎に対するテノホビル・アラフェナミド単剤投与への切替におけるウイルス学的効果ならびに安全性についての検討  
国立大阪医療センター・消化器内科 田中 聡司 (たなか さとし)
- SY3-4 B 型慢性肝炎患者におけるエンテカビル (ETV) およびテノホビル・アラフェナミド (TAF) 投与による HBs 抗原減少効果の検討  
岐阜協立大・看護学部 熊田 卓 (くまだ たかし)
- SY3-5 核酸アナログ製剤併用 B 型慢性肝疾患患者における TAF 単剤投与への切り替え  
埼玉医大病院・消化器内科・肝臓内科 山田 俊介 (やまだ しゅんすけ)
- SY3-6 B 型慢性肝疾患の線維化評価における MRE の有用性  
武蔵野赤十字病院 慶徳 大誠 (けいとく たいせい)
- SY3-7 免疫チェックポイント阻害剤投与に伴う HBV 再活性化および抗ウイルス効果についての検討  
近畿大附属病院 萩原 智 (はぎはら さとる)
- SY3-8 HBV 再活性化予防のために投与された核酸アナログ製剤中止条件の検討  
名古屋市立大大学院・消化器・代謝内科学 鈴木 孝典 (すずき たかのり)
- SY3-9 核酸アナログ中止を最終目的とした個別 HBV 再活性化対策  
市立柏原病院 田守 昭博 (たもり あきひろ)
- SY3-10 免疫系を有する B 型慢性肝炎マウスモデルの樹立とシングルセル解析による網羅的肝内免疫動態解析  
大阪大大学院・消化器内科学 滋野 聡 (しげの さとし)
- SY3-11 Live cell imaging と蛍光一分子超解像度顕微鏡を用いた B 型肝炎ウイルスの感染初期の動態の解明とエントリー阻害薬の開発  
金沢大附属病院・消化器内科 杉本 宰甫 (すぎもと さいほ)
- SY3-12 B 型肝炎創薬のための HBV 産生細胞を用いたマウスモデルの構築と応用  
国立感染症研究所 楊 光 (よう こう)

- SY3-13 HBV-RNA を標的とする新規抗 HBV 化合物 SAG を用いた併用療法の有効性  
熊本大大学院・生命科学研究部 渡邊 丈久 (わたなべ たけひさ)
- SY3-14 HBV 持続感染患者を対象とした bepirovirsen の国際共同後期第 II 相試験 (B-Clear study) における全体及び日本人部分集団解析  
熊本大大学院・生命科学研究部 田中 靖人 (たなか やすひと)
- SY3-15 HBs 抗原と Hbc 抗原を含む経鼻治療ワクチン (CVP-NASVAC) の HBs 抗原量に対する長期効果の検討  
愛媛大大学院・消化器・内分泌・代謝内科学 今井 祐輔 (いまい ゆうすけ)

## シンポジウム 4

### C 型肝炎診療の未来予想図 (現状と課題)

第 1 日目 6 月 15 日 (木) 8:40~11:10

第 4 会場 (奈良県コンベンションセンター 2 階 会議室 204)

司会 榎本 信幸 山梨大・消化器内科

坂本 直哉 北海道大・消化器内科

【基調講演】 C 型肝炎治療の現状と SVR 後の残された課題

虎の門病院・肝臓センター 鈴木 文孝 (すずき ふみたか)

SY4-1 C 型非代償性肝硬変症例における sofosbuvir/velpatasvir 治療後長期の肝予備能改善に關与する因子の検討—全国多施設共同研究—

大阪大大学院・消化器内科学 田畑 優貴 (たはた ゆうき)

SY4-2 C 型肝炎に対する DAA 治療による SVR 後の食道静脈瘤の推移

日本医大付属病院 厚川 正則 (あつかわ まさのり)

SY4-3 Population-level real-world evidence of long-term mortality, liver and non-liver effects of DAA therapy in patients with chronic hepatitis C

九州大病院・総合診療科 小川 栄一 (おがわ えいいち)

SY4-4 HCV 排除後の炎症残存における年齢因子関与の検討—サイトカイン動態から見た解析

山梨大・1 内科 前川 伸哉 (まえかわ しんや)

SY4-5 DAAs 治療による HCV 排除が、肝脂肪化及び脂質異常症の有病率に与える影響の検討

北海道大病院・消化器内科 得地 祐匡 (とくち よしまさ)

SY4-6 SVR 後肝発癌リスクとしての代謝要因のインパクト

虎の門病院・肝臓センター 瀬崎ひとみ (せざき ひとみ)

SY4-7 C 型肝炎における SVR 後の肝予備能と肝発癌の予測

愛媛大・消化器・内分泌・代謝内科学 渡辺 崇夫 (わたなべ たかお)

SY4-8 DAA-SVR 後の肝発癌と生命予後の検討

鹿児島大大学院・消化器疾患・生活習慣病学 馬渡 誠一 (まわたり せいいち)

SY4-9 SVR 後の肝発癌および生命予後リスク因子の解析

東京医科歯科大・統合教育機構/

東京医科歯科大病院・消化器内科 中川 美奈 (なかがわ みな)

SY4-10 DAA 治療終了 48 週後の肝発癌リスクに応じた SVR 達成 C 型慢性肝疾患患者の HCC サーベイランス戦略

埼玉医大 内田 義人 (うちだ よしひと)

SY4-11 Transformer を用いた SVR 後発癌予測モデルの有用性の検討

東京大附属病院・検査部/東京大附属病院・消化器内科 佐藤 雅哉 (さとう まさや)

SY4-12 血清 LG2m 値による C 型肝炎 SVR 後患者の肝発がんリスク層別化に関する解析

金沢大附属病院 島上 哲朗 (しまかみ てつろう)

## SY4-13 C 型慢性肝炎の SVR 後肝発がんに関連する遺伝要因の同定

国立国際医療研究センター研究所・感染病態研究部 杉山 真也 (すぎやま まさや)

## シンポジウム 5

### 肝癌（肝内胆管癌含む）診療の未来予想図（現状と課題）

第 1 日目 6 月 15 日（木）8：40～11：10

第 2 会場（奈良県コンベンションセンター 2 階 天平ホール）

司会 島田 光生 徳島大・消化器・移植外科

加藤 直也 千葉大大学院・消化器内科学

- 【基調講演】 根治を見据えた近未来の肝細胞癌治療戦略  
 近畿大医学部・消化器内科 工藤 正俊（くどう まさとし）
- SY5-1 Regnase-1 と腫瘍促進性炎症細胞の相互作用を介した新規肝内胆管癌発症機構  
 大阪大大学院・消化器内科学 佐藤 悠（さとう ゆう）
- SY5-2 進行肝内胆管癌に対する化学療法後 Conversion 手術の有用性に関する検討  
 熊本大大学院・消化器外科学 湯本 信成（ゆもと しんせい）
- SY5-3 肝細胞癌および肝内胆管癌における遺伝子異常に基づく二次薬物療法の選択に関する検討  
 金沢大附属病院 寺島 健志（てらしま たけし）
- SY5-4 TERT は p21 の分解を直接制御することで肝発癌促進に寄与する  
 京都大附属病院 三嶋眞紗子（みしま まさこ）
- SY5-5 肝細胞癌に対する陽子線と重粒子線の使い方と使い分け  
 兵庫県立粒子線医療センター・放射線科 寺嶋 千貴（てらしま ちかき）
- SY5-6 切除不能進行肝細胞癌（HCC）に対し肝動注化学療法で根治を目指すための新たな腫瘍ステージング  
 久留米大病院 新関 敬（にいせき たかし）
- SY5-7 切除不能肝細胞癌アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における治療効果予測因子  
 武蔵野赤十字病院・消化器科 安井 豊（やすい ゆたか）
- SY5-8 進行肝細胞癌の根治を見据えた治療戦略—薬物療法・集学的治療による cancer free 達成に関する検討—  
 千葉大大学院・消化器内科学 興柁 慧輔（こうろき けいすけ）
- SY5-9 外科治療と薬物療法の協働による肝細胞癌の治療戦略  
 九州大大学院・消化器・総合外科 伊藤 心二（いとう しんじ）
- SY5-10 進行肝細胞癌に対する外科治療の新展開—肝癌微小環境における Nrf2 に着目した新たなアプローチ—  
 徳島大病院・消化器・移植外科 齋藤 裕（さいとう ゆう）
- SY5-11 肝細胞癌の生存延長を企図した根治的治療後の再発病変に対する治療選択の再考  
 虎の門病院・消化器外科 進藤 潤一（しんどう じゅんいち）